

ドライバーをはじめ、スタッフの確保・育成・定着のヒントを紹介するコーナー『人財力』。企業が成長する上で、優秀な「人財」の確保は不可欠です。しかしながら、運送業界では人手不足が大きな課題となっています。

そこで今回は、従来の募集のやり方とは違い、会社説明会を開催してドライバーを採用している事例を紹介します。

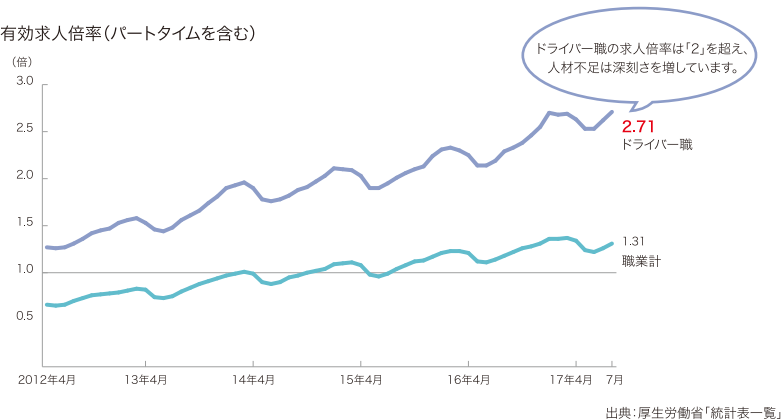
運送業界のドライバー不足の現状

現在、ドライバーの有効求人倍率※は「2」を超えて、2009年以降、毎年右肩上がりとなっています[グラフ]。ドライバーが集まりにくい要因は、労働力人口の減少や運転免許制度改正、他産業と比べても労働時間が

長いといった労働条件などが考えられます。しかし企業の成長はもちろん、国内の経済活動を支えるトラック輸送を止めないためにも、人材確保は急務です。

※求人倍率が1.0より高ければ、「仕事を探している人」の数よりも「企業が求める人数」のほうが多い状態。

[グラフ] 職業別有効求人倍率(パートタイムを含む)



クルー体験会に学ぶ、今の時代の採用手法

CMやニュースでご覧になられた方も多かもしれませんが、大手ファーストフード店が今年の春ごろ、全店舗一斉に「クルー体験会」を実施しました。過去最大規模のアルバイト採用キャンペーンで、学生や主婦を中心に全国で5,000人以上の人が参加したと話題になっていました。実施内容は、ハンバーガーやドリンクの製造体験、接客模擬体験、バックヤードツアー、ドライブスルー体験などが行われたそうです。

仕事内容や職場環境を見て・体験してもらうことで、「自分でもやれそうか」、「仕事は楽しそうか」などを

判断してもらい、就労意欲を高めることが狙いでしょう。また、いきなり面接ではなく「体験会」と称することで、まだ応募意欲がそこまで高くはない人も来たり、友達と誘い合っただけという効果もあるでしょう。

実際に、体験会に参加された方からは、「アルバイト先として考えたときに、仕事内容を事前に体験できたので不安が減った」、「店長や同僚となる他のクルーがどんな人たちが分かって安心した」、「トレーニングのやり方が分かって、自分でもできそうだった」というような感想があり、好評だったようです。

中途採用向け会社説明会の開催

運送事業者に限らず、これまで会社説明会や見学会、体験会というのは新卒者向けで、中途やパート・アルバイト募集の場合はいきなり面接するのが一般的でした。しかし、超売り手市場の現在だからこそ、求職者はシビアに会社選びをしています。そういった意味でも、中途採用の場合でもいきなり面接するのではなく、

まずは見学会や説明会を通じて、情報を伝えるという手法は今後さらに重要性を増してきます。実際に、ドライバー募集で会社説明会を開催して、うまく採用できている運送事業者があります。

中途採用向け会社説明会を開催するメリットを整理すると、大きく分けて下記の3つがあげられます。

中途採用向け会社説明会を開くメリットとは

①応募のハードルが下がり参加者が増える

いきなり面接に誘導するのではなく、まず会社説明会に来てもらい会社のことを知ってもらうことが目的です。「説明を聞いてみて、興味を持って面接に進んでください」というアプローチなので、心理的な応募ハードルが下がり参加者が増えます。

②事業者と求職者のミスマッチを防げる

面接とは違い、会社説明会としてプレゼンする時間があるため、企業理念や方針、業務内容などを伝えることができます。事前にしっかり説明して納得してもらうことで、入社後のギャップが少なくなり定着率も高くなります。

③レベルの高い求職者が集まる

会社説明会に参加するという方は、「しっかり会社を選んで決めよう」という意識の高い方が集まります。実際に会社説明会を開催している経営者の方は、「在職中の人からの応募が多く、今までよりもレベルの高い人が増えた」と話します。

以上が会社説明会を開くメリットになります。求人広告を出しても反応がなくて困られている方は、いきなり面接誘導ではなく、まずは会社説明会にきてもらうというワンステップを踏むことをおすすめします。



運送業界に関心を持っている方は確実にいます。会社のPR、仕事内容をしっかり伝えましょう。

河内谷庸高 (かわちやのぶたか)

株式会社 船井総合研究所 物流・交通グループ所属。グループマネージャー、シニア経営コンサルタント。運送会社・物流会社向けにマーケティング戦略の立案から販促・営業企画、新規事業参入等、業種アップコンサルティングに従事。近年はドライバー採用・定着・育成をメインテーマに活動。ホームページを核とした求人方法で、エリアや企業規模に関わらず、今の時代でもドライバー採用に困っていない運送会社を各地で輩出している。物流企業経営研究会「ロジスティクスビジネス経営研究会」を主宰。